

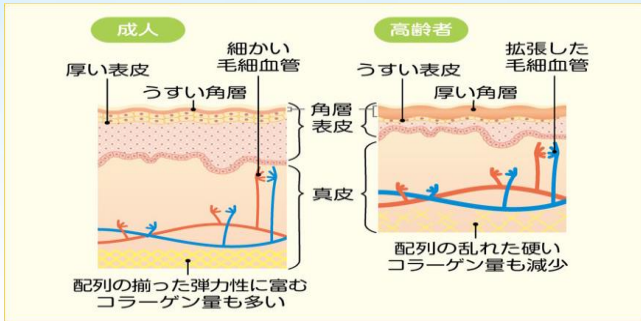
ふじ太郎です。桜の開花と温かな日差しに春の訪れを感じますね。
一方で花粉症で悩まれ、肌のトラブルの報告も耳にします。
看護部には皮膚全般を守る「スキンケア委員会」という組織があることをご存じですか。
今回はスキンケア委員会の活動や皮膚について教えていただこうと思います！



初めまして！スキンケア委員会委員長のIです。
今回はふじ太郎くんからの依頼があったので、皮膚について皆さんへお伝えできたらと思います。
皮膚は人体最大の器官と言われていて畳1枚分ほどの大きさです。

皮膚の構造	主な役割
表皮(0.2mm)	バリア機構・重要な物質が出ないようにする（保湿）
真皮(1.8mm)	温度調整機構・感覚センサー
皮下組織	体温維持・エネルギー代謝

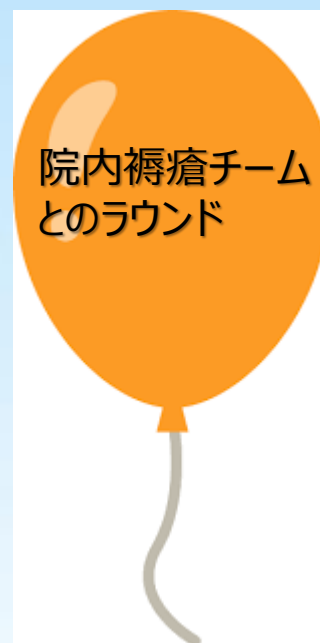
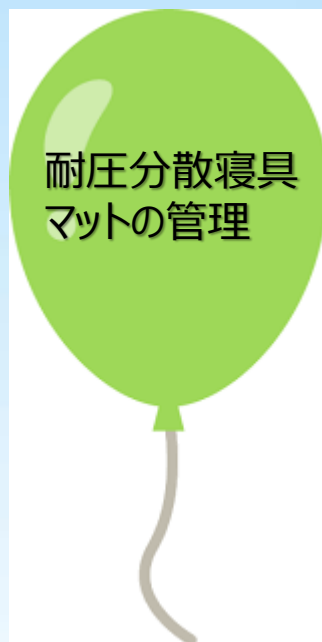
私たちの皮膚は重要な役割があり、繊細であるのだと実感しますね。
当院で入院されている患者様は高齢者の方が多いので、成人と高齢者の皮膚の比較についても見てみましょう。



乾燥しやすい
皮脂や水分が少ない
弾力がない
表皮が薄くなり
弾力がなくなる
菌に感染しやすい
バリア機能が低下する



スキンケア委員会では患者様の皮膚を守るため、下記の活動を行っています。



- ① 学習会の実施（12月.3月）・・・スタッフの知識、技術をあげて皮膚を守る
- ② 体位圧分散寝具・クッションの管理・・・たくさんの種類の中から最適なものを選択します
- ③ 院内褥瘡委員とラウンドの実施（1回/月）
・・・医師、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリで協働
- ④ マニュアルの修正 ・・・最新のエビデンス（根拠）を提供します

